

## ヤマブドウ県オリジナル品種「涼実紫」の 9年間の結実重量経年比較

### 1 研究のねらい

県オリジナル品種「涼実紫」の結実特性、特に隔年結果性を明らかにする。

### 2 研究方法と結果

調査対象は、岩手県林業技術センター矢巾試験地及び滝沢試験地に植栽している涼実紫1号～5号（雄株の3号を除く）とした。個体ごとに収穫して結実重量を測定し、品種ごとに1本あたりの平均値で比較した。

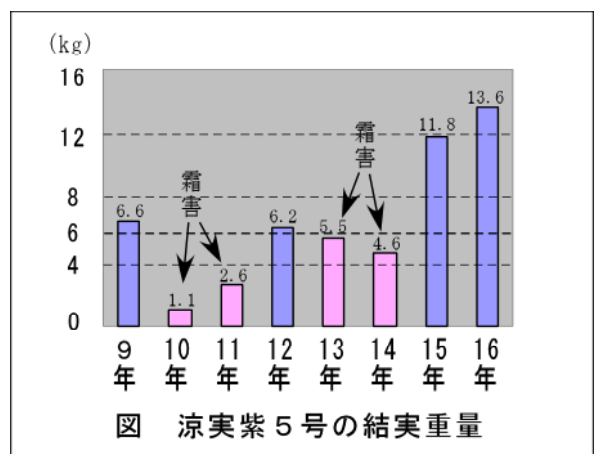
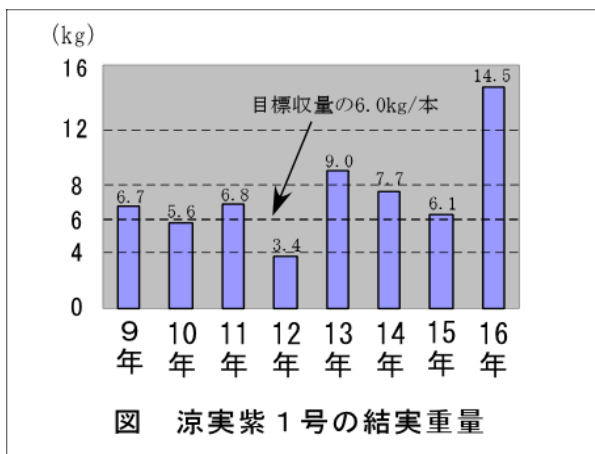
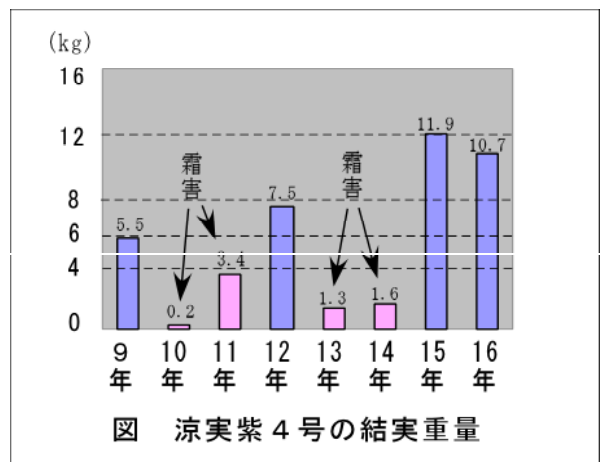
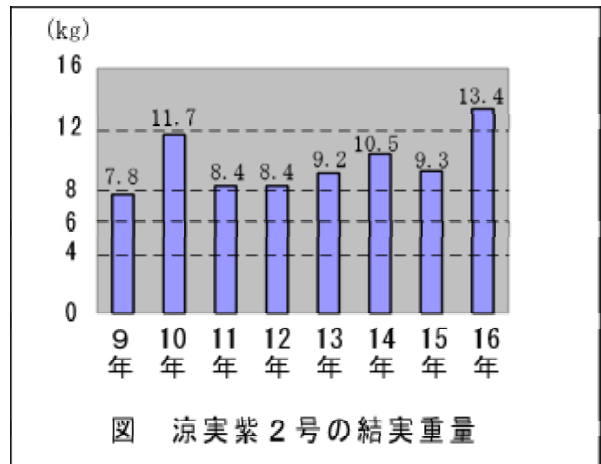
その結果、果汁糖度に特徴がある1号は、収穫目標の6.0kg/本（葛巻町発行「山ぶどう栽培暦」参考）をわずかに上回る年が多く、最低は3.4kgで最高は14.5kgであった。

多収性品種の2号、4号、5号は霜害の年を除いて、いずれの年も収穫目標の6.0kg/本を上回った。2号は最低が7.8kgで最高が13.4kg、4号は最低が5.5kgで最高が11.9kg、5号は最低が6.2kgで最高が13.6kgであった。

また、平成15年、16年は豊作年であったが、いずれの多収性品種とも15年に多量に着果したが、翌年の16年でも隔年結果が見られず多収性を示した。

### 3 成果の活用

ヤマブドウの収量を長期的に調べた事例がないので、今後も収量を調べる予定である。



(担当 特用林産部 主任専門研究員 泉 憲裕)

連絡先

028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第三地割560番地11  
岩手県林業技術センター  
ホームページアドレス

TEL 019-697-1536

FAX 019-697-1410

<http://www.pref.iwate.jp/hp1017/>